

# 第151期 株主レポート

2016年3月1日から2017年2月28日まで



## 株主の皆様へ

---



平素は格別のご高配を賜り、御礼申し上げます。このたび第151期株主レポートが整いましたのでお届けいたします。

2016年度、百貨店業を中心に厳しい経営環境にありましたが、当社はグループ総合戦略であるまちづくり戦略を推進し、百貨店と専門店が一体となった商業施設づくりなど、お客様満足の向上をめざしてまいりました。

その結果、2016年度の連結業績は、7期連続の営業増益を達成いたしました。

### **次世代百貨店グループをめざして、 まちづくり戦略を推進**

2017年度につきましても、百貨店・不動産・金融など当社グループの総合力を結集し、戦略を更に推進してまいります。

現在進めているまちづくり戦略の象徴的なプロジェクトである日本橋再開発計画においては、街全体で再開発を進め、賑わいの核となる「新・都市型SC」のグランドオープンを2019年春に予定しております。

昨年、新宿・タカシマヤ タイムズスクエアにおきましては、高速バスターミナル「バスタ新宿」が開業するなど大きく変化した周辺環境を捉え、

改装を行ってまいりました。本年4月には全日空商事(株)・(株)ホテル新羅との合弁会社、A&S高島屋デューティーフリー(株)による空港型市中免税店を開業するなど、今後も引き続きインバウンド需要に 대응してまいります。

品揃えにつきましては、百貨店の編集力や専門店の柔軟な対応力といった強みを生かし、多様化するニーズに鮮度をもって対応してまいります。一例として、本年3月には、新宿店に「心とカラダ、両面の充実をめざすライフスタイル=ウェルビーイングライフ」をコンセプトとした編集フロア「ウェルビーフィールド」をオープンし、新たなゾーニング提案を通じた特徴化を進めてまいります。当社のコア事業である百貨店においては、地域のお客様ニーズに対応する現場基点のマーケティングや、上質な接客・サービスの強化にも取り組んでまいります。

不動産業におきましては、東神開発がまちづくり戦略の中心的役割を担い、グループ一体となって新たな価値創造をめざしてまいります。

金融業におきましては、高島屋クレジットが積極的な入会促進によって新規会員獲得を

図るとともに、外部加盟店でのカード利用促進に努め、収益拡大をめざしてまいります。

海外事業におきましては、昨年ベトナムにオープンしました、ホーチミン高島屋に続き、タイ・バンコクでASEAN3店舗目となる、サイアム高島屋の開業準備を進めております。シンガポール高島屋が持つ経営資源・ノウハウ・ASEAN諸国における知名度を最大限に活用することで、早期の収益化を図ります。

先行きの見通しが不確実な時代ではありますが、従来のビジネスモデルにデジタル技術とその発想を取り入れることにより、お客様価値の創造と業務改革を進めてまいります。これにより、次世代百貨店グループへの転換を推進するとともに、今後もお客様の豊かな生活に貢献する企業グループをめざしてまいります。

引き続き株主の皆様のご支援・ご愛顧のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

2017年5月

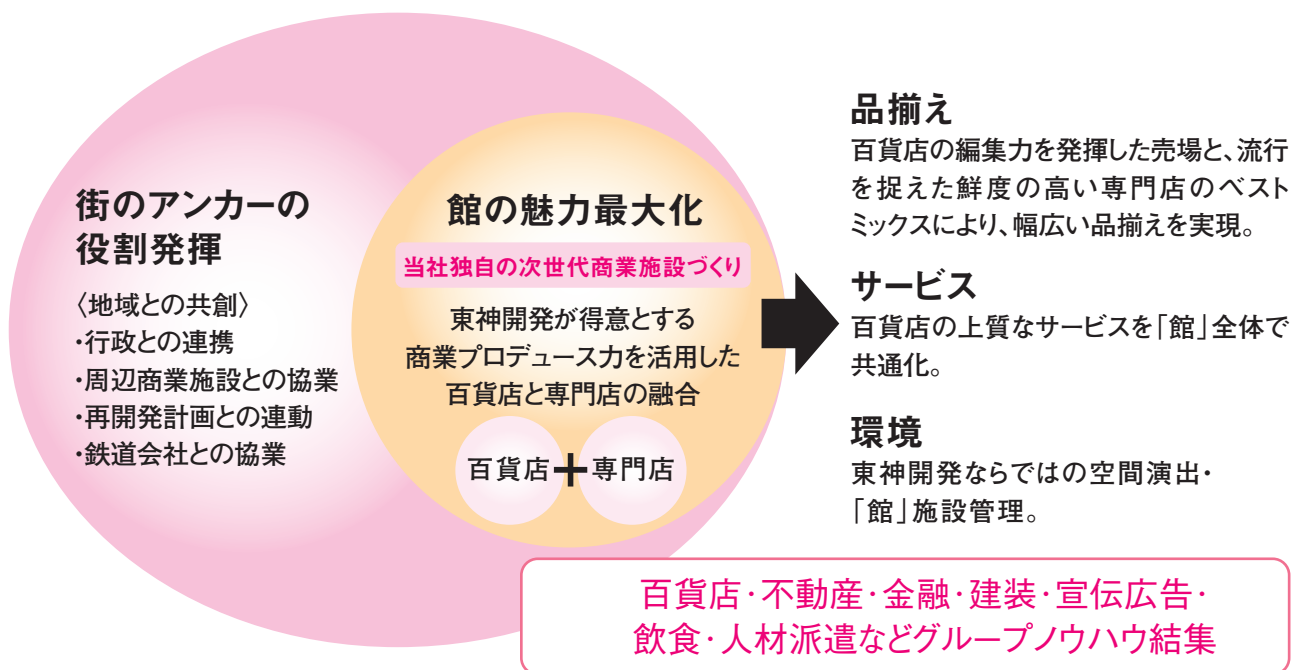
取締役社長 木本 茂



# グループ総合力を発揮する、まちづくり戦略

当社は、グループ会社である東神開発の商業プロデュース力をはじめ、金融、建装など、さまざまなグループのノウハウを結集させ、お客様満足を目指す「まちづくり戦略」を推進しております。

百貨店と専門店を融合した当社独自の次世代商業施設づくりにより、街に人を集めるアンカーとしての役割を果たすとともに、館の魅力の最大化に努めてまいります。



当社における、まちづくり戦略の象徴は玉川高島屋ショッピングセンターであり、この日本初のショッピングセンターが開業したのは約50年前の1969年となります。

2019年に予定している日本橋再開発計画の完工により、次世代のシンボルとなる「新・都市型SC」が誕生します。

1969



玉川高島屋S・C開業

1992



柏高島屋ステーションモール開業

1993



シンガポール高島屋S.C.開業

1996



新宿・タカシマヤ タイムズスクエア開業

2019



日本橋再開発 2018年秋 新館開業 2019年春 本館改装

# 国内百貨店業

## 空港型市中免税店

2017年4月27日、タカシマヤ タイムズスクエア 11階に、東京・新宿地区では初となる空港型市中免税店「高島屋免税店 SHILLA&ANA」がオープンいたしました。関税・酒税・たばこ税などが免税となる「Duty Free Zone」や、その場で持ち帰りたというニーズに応える消費税免税の「Tax Free Zone」を設けました。人気の高いアイテムを厳選し「ワンストップショッピング」を楽しんでいただける商業施設として、訪日外国人の方をお迎えいたします。



## ウェルビーフィールド

「美」と「健康」のマーケット拡大とともに、ウェルネス志向への関心やニーズはますます高まっております。そうした背景のもと、心とカラダの充実をめざすライフスタイル＝ウェルビーイングライフをコンセプトとしたフロア「ウェルビーフィールド」が2017年3月に新宿店8階にオープンいたしました。心とカラダを整えるモノ・コトをご提案し、高感度で豊かな美しさをサポートする新しいライフスタイル型の編集フロアを展開してまいります。



## 発酵デリカテッセン カフェテリア Kouji&ko

“健康的で心地良い暮らし”を求める新たなライフスタイルへの関心やニーズが高まる中、新しい「発酵」スタイルを世界へ提案するブランドとして、発酵食品を使った本格的かつおいしくスタイリッシュなメニューを提供する発酵デリカテッセンカフェテリア「Kouji&ko」(当社と貝印株式会社による合併事業会社フードアンドパートナーズのブランド)の1号店が、2016年11月に新宿店8階にオープンいたしました。

今までにない“ファッショナブルな食スタイル”に深化することにより、百貨店に期待される幅広い品揃えを実現してまいります。



## dear mayuko

繭から生まれた天然タンパク質「セリシン」を使用した化粧品や雑貨を取り揃える、ライフスタイル提案型ビューティーブランド「dear mayuko (ディアマユコ)」(当社とセーレン株式会社による合併事業会社Dear Mayukoのブランド)が2016年11月に横浜店、日本橋店、ジェイアール名古屋タカシマヤの3店舗にオープンいたしました。スキンケアを中心に、ボディケアなどのビューティーアイテムから、入浴剤やヘアケアなどのバスアイテム、タオルをはじめとする生活雑貨までバリエーション豊かに、約 130製品を展開いたします。



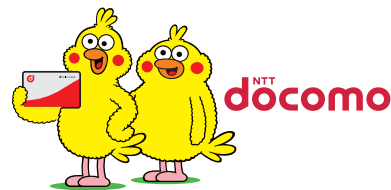
## タカシマヤ ウオッチメゾン

高級腕時計の需要が近年拡大しております。このトレンドを背景に、国内最大級の売場面積を誇る時計専門売場として日本橋店に続き2016年11月に大阪店にオープンいたしました。各ブランドの世界観を表現するため、11ブランドを「ショップ イン ショップ」形式で展開しております。豊富な品揃えと魅力ある売場づくりにより、お客様にご満足いただくと同時になんばエリア界隈の活性化にもつなげてまいります。



## dポイント・Pontaポイント

会員数が約6,000万人の株式会社NTTドコモ「dポイント」と約8,000万人の株式会社ロイヤリティ マーケティング「Pontaポイント」が、高島屋店舗でのお買物でためて、使えるようになりました。これにより、従来のお客様に加え新たなお客様にもご来店いただいております。今後もより多くのお客様にご満足いただけるサービスの提供に努めてまいります。



# 国内グループ事業

## 東神開発

東神開発およびトーシンディベロップメント・シンガポールについては、日本橋再開発計画をはじめ、流山おおたかの森やベトナム・サイゴンセンターなど、海外含め10拠点ある既存ショッピングセンターの運営や周辺開発を進めてまいります。

百貨店と連携して培った小売のノウハウを強みとし、業界優位性を強化してまいります。



流山おおたかの森S・C

## 高島屋クレジット

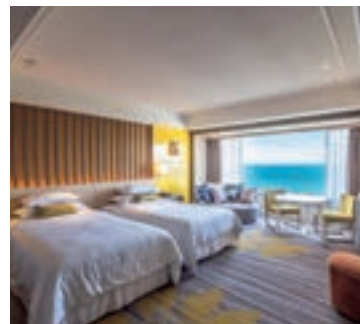
金融業の高島屋クレジットにおいては現在のクレジットカード事業からさらに決済手段の多様化、キャッシュレス化に対応したサービス展開により事業領域を拡大してまいります。

当社を永らくご愛顧いただいておりますお客様との信頼関係をさらに構築していくとともに新たなお客様の獲得をめざしてまいります。



## 高島屋スペースクリエイツ

建装事業の高島屋スペースクリエイツにおいては、訪日外国人の増加や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催によるホテル需要の高まりなど、良好な事業環境を背景に、引き続き事業拡大をめざしてまいります。



シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート客室(宮崎県)



# 海外事業

---

## ベトナム・ホーチミン

ベトナム・ホーチミン市の本格的ワンストップショッピングセンター「サイゴンセンター」内に、ホーチミン高島屋が昨年7月オープンいたしました。予想を超える数のお客様にご来店いただくなど、ご好評いただいております。今後も地元のお客様にご利用いただけるよう、ニーズに応えた品揃え・サービスを提供してまいります。また「サイゴンセンター」については、シンガポールの経営資源を活用するとともに、「百貨店」「不動産」「商業施設運営」を統合し、事業推進してまいります。



## タイ・バンコク

2018年春には、タイ・バンコクに「サイアム高島屋」がオープンいたします。タイにおける商業施設に対する民間投資としては過去最大級となる大型商業施設「アイコンサイアム」にアンカーテナントとして出店し、現地有力企業のサイアム・ピワット社とのパートナーシップのもと、バンコクにおける次世代商業施設に取り組んでまいります。



# 高島屋グループ成長戦略

高島屋グループ長期プランでは、グループの最上位戦略としての「まちづくり戦略」を中心に、国内百貨店、国内グループ、海外事業の拡充を図ってまいります。

2021年度の営業収益を1兆円、営業利益500億円をめざし、業界トップ水準の収益性、効率性、さらに財務健全性を実現してまいります。

また効果的な投資と利益成長にて経営効率を高め、ROEとROAの持続的な向上を図ってまいります。成長・戦略投資については、2016年度の資産売却等によるキャッシュも含め、キャッシュ・フローの範囲で戦略的に投資してまいります。

	2016年度	2021年度	増減
営業収益	9,236億円	1兆円	+764億円
営業利益	340億円	500億円	+160億円
ROE	5.1%	7%以上	+2%
ROA	3.8%	4.6%	+0.8%
自己資本比率	41.8%	48%	+6%
営業CF		2,700億円	
投資CF		△3,100億円	
財務CF		100億円	

# CSR経営

---

当社グループは経営理念「いつも、人から。」のもと、ステークホルダーの皆様からの信頼を得ることにより、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

お客様との信頼強化に向けて、消費者保護の姿勢をグループ全体へ徹底していくとともに、すべてのお取引先にもご理解・ご協力いただくことにより、「食の安心・安全」を徹底してまいります。

また今年度新設いたしましたダイバーシティ推進室が中心となって、従業員が意欲的に働ける環境づくりを行なってまいります。

さらに環境活動につきましても、リサイクル率の向上など、グループ一体で取り組んでまいります。

## 高島屋グループ 経営理念

# 「いつも、人から。」

タカシマヤグループは、  
「人を信じ、人を愛し、人につくす」ことを大切にし、社会に貢献します。

### 指針

《ここに残るおもてなし》

《未来を切り拓く新たな生活・文化の創造》

《いきいきとした地域社会づくりへの貢献》

《地球環境を守るためのたゆまぬ努力》

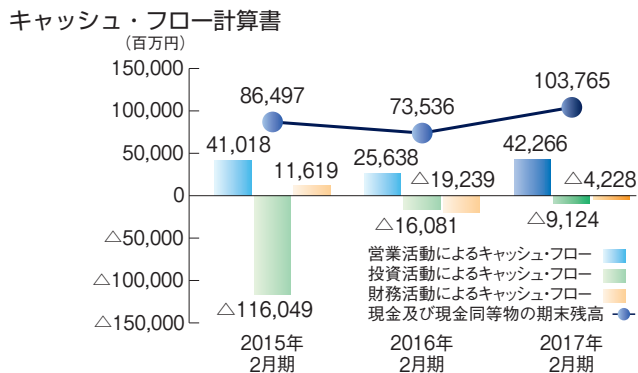
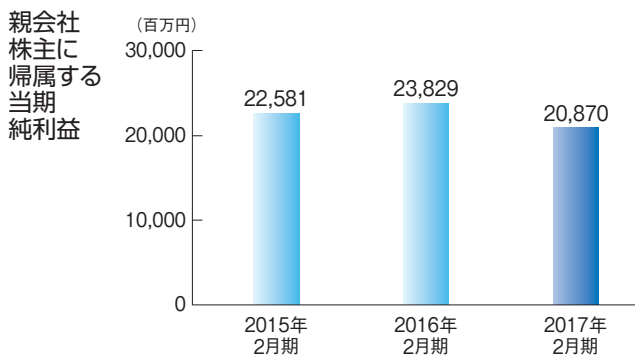
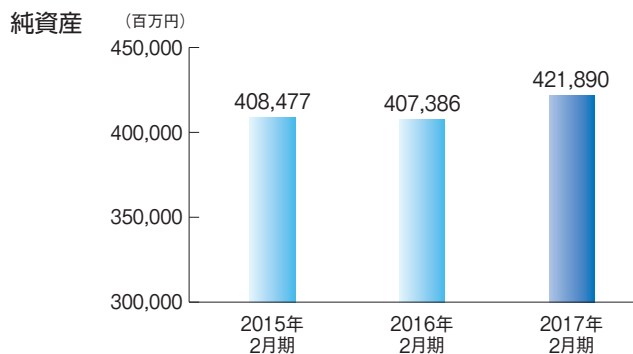
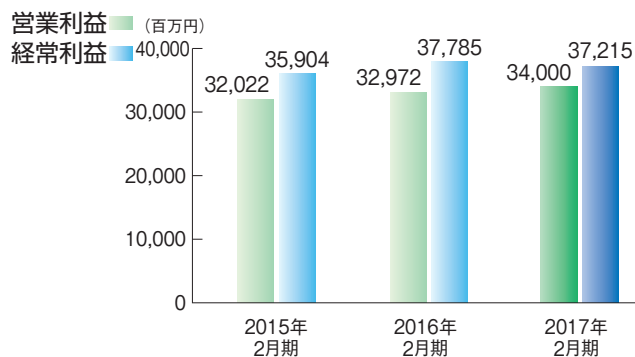
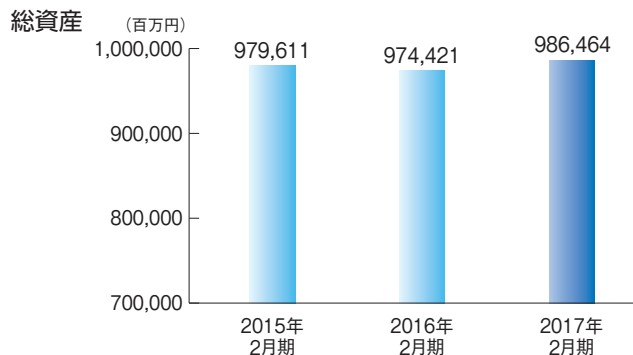
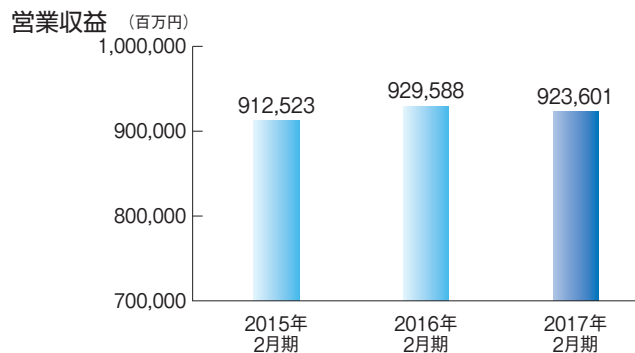
《社会から信頼される行動》

### 企業メッセージ

『「変わらない」のに、あたらしい。』

伝統があるから、新しくなれる。  
時代に息づく心地よい価値をこれからも。

# 連結業績





# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2016年2月29日現在	2017年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	290,625	325,500
固定資産	683,795	660,963
有形固定資産	417,307	413,703
無形固定資産	108,327	107,172
投資その他の資産	158,161	140,087
<b>資産合計</b>	<b>974,421</b>	<b>986,464</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	325,082	319,793
固定負債	241,951	244,780
<b>負債合計</b>	<b>567,034</b>	<b>564,574</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	364,102	379,984
資本金	66,025	66,025
資本剰余金	55,085	55,085
利益剰余金	249,145	265,033
自己株式	△6,153	△6,160
その他の包括利益累計額合計	34,824	32,240
非支配株主持分	8,458	9,665
<b>純資産合計</b>	<b>407,386</b>	<b>421,890</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>974,421</b>	<b>986,464</b>

## 連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

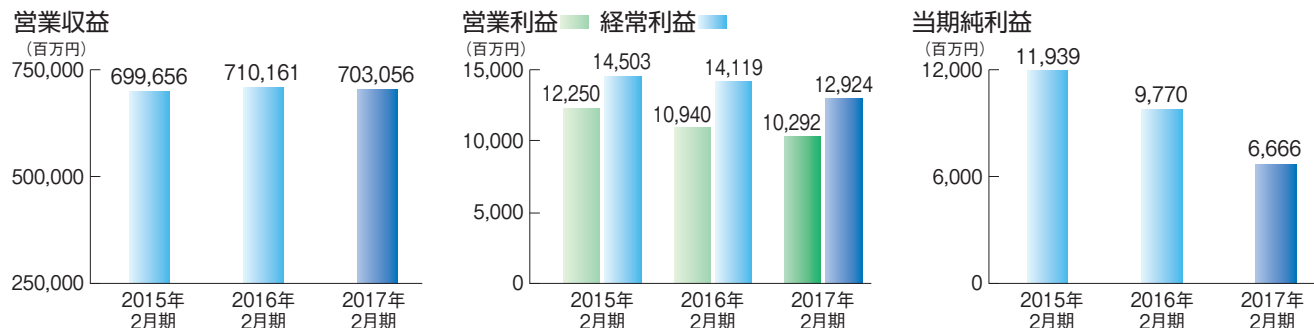
科目	前期	当期
	2015年3月 1日より 2016年2月29日まで	2016年3月 1日より 2017年2月28日まで
営業収益	929,588	923,601
売上高	865,889	860,761
売上総利益	214,878	211,996
その他営業収入	63,698	62,840
営業総利益	278,577	274,836
販売費及び一般管理費	245,605	240,835
営業利益	32,972	34,000
営業外収益	5,982	5,054
営業外費用	1,169	1,839
経常利益	37,785	37,215
特別利益	13,734	6,410
特別損失	10,068	9,023
税金等調整前当期純利益	41,451	34,602
法人税等	17,181	13,022
当期純利益	24,270	21,579
非支配株主に帰属する当期純利益	441	709
親会社株主に帰属する当期純利益	23,829	20,870

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2015年3月 1日より 2016年2月29日まで	2016年3月 1日より 2017年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,638	42,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,081	△9,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,239	△4,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,278	△2,613
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,960	26,299
現金及び現金同等物の期首残高	86,497	73,536
新規連結に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	3,929
現金及び現金同等物の期末残高	73,536	103,765

# 単体業績



# 収支計画

2018年2月期 連結収支計画 (2017年3月1日から2018年2月28日まで)

通 期	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	943,000	2.1	35,000	2.9	37,500	0.8	21,500	3.0

%表示は、対前期増減率

〈ご参考〉 2018年2月期 単体収支計画 (2017年3月1日から2018年2月28日まで)

通 期	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	700,000	△0.4	11,300	9.8	13,500	4.5	6,100	△8.5

%表示は、対前期増減率

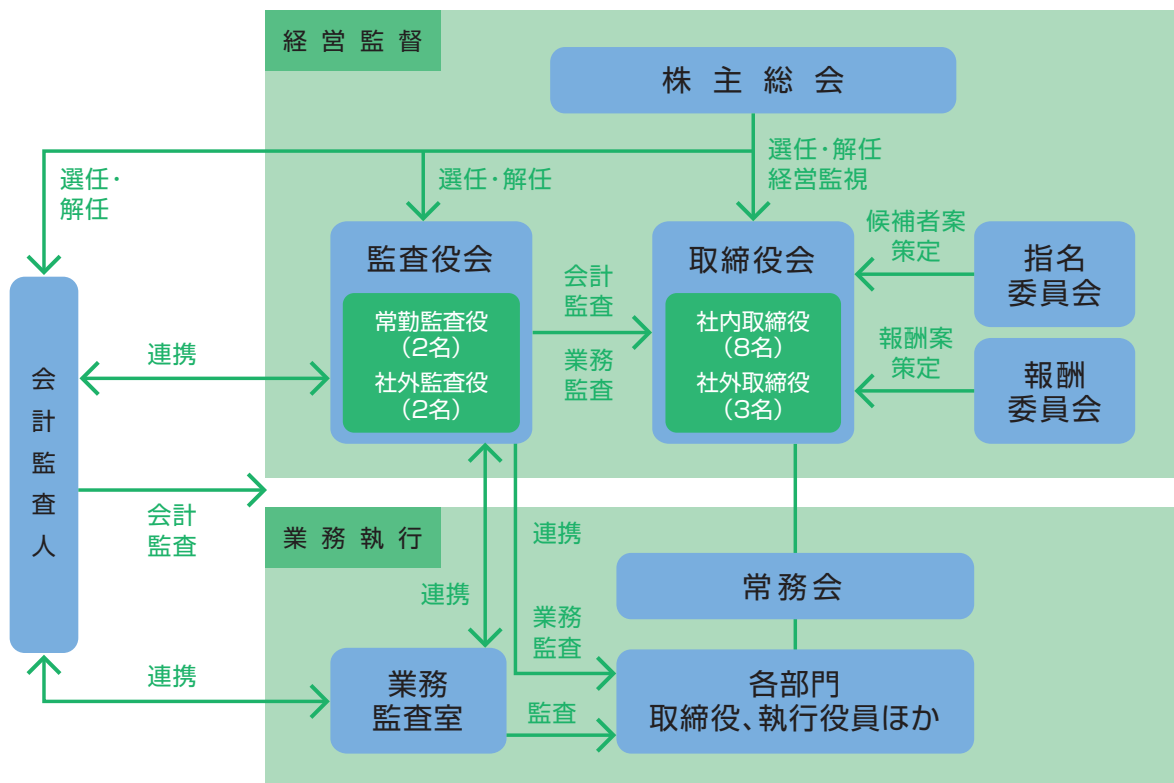
# 年間配当金について

当社では、将来に備え経営基盤を強化することにより安定的な配当水準を維持することを基本スタンスとしながら、業績や経営環境を総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を図ってまいります。この方針のもと、当期の1株当たり年間配当金につきましては、12円とさせていただきます。

# コーポレートガバナンス体制

コーポレートガバナンスにつきましては、昨今コーポレートガバナンス・コード適用など関心が高まる中、従来からの取り組みをさらに強化し、持続的な成長と永続的な企業価値の向上に努めてまいります。当社は監査役会設置会社を選択しておりますが、委員の3分の1が社外取締役となる任意の指名委員会、及び報酬委員会を設置しております。報酬委員会については委員長を社外取締役にするなど、公平性と透明性の確保とともに、取締役会との連携強化に努めております。

## 高島屋経営機構



# 株式情報

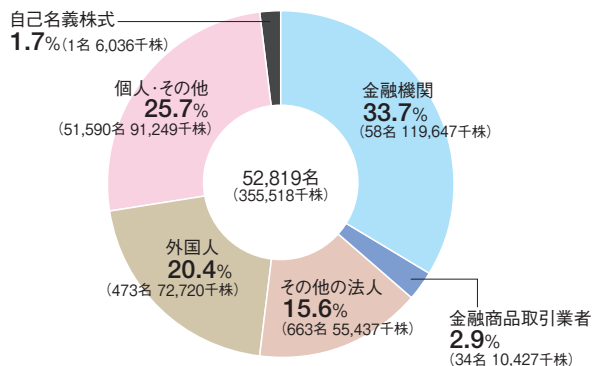
## 株式数および株主数

(2017年2月28日現在)

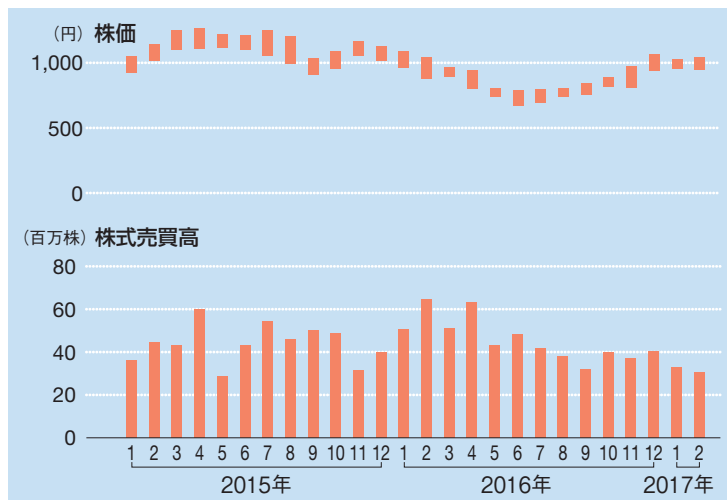
発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	355,518,963株
株主数	52,819名

## 株式分布状況

所有者別



## 株価（高値・安値）および株式売買高の推移



# 役員

(2017年5月23日現在)

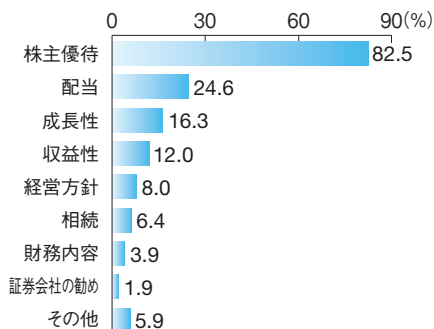
代表取締役 取締役会長	鈴木 弘 治
代表取締役 取締役社長	木 本 茂
代表取締役 専務取締役	秋 山 弘 昭
代表取締役 常務取締役	門 田 真 司
常 務 取 締 役	高 山 俊 三
常 務 取 締 役	村 田 善 郎
常 務 取 締 役	栗 野 光 章
常 務 取 締 役	亀 岡 恒 方
社 外 取 締 役	中 島 馨
社 外 取 締 役	後 藤 晃
社 外 取 締 役	鳥 越 けい子
常 勤 監 査 役	鋤 納 健 治
常 勤 監 査 役	平 本 彰
社 外 監 査 役	武 藤 英 二
社 外 監 査 役	西 村 寛
上 席 執 行 役 員	小 島 一 彦
上 席 執 行 役 員	高 久 充
執 行 役 員	安 田 洋 子
執 行 役 員	山 下 恭 史
執 行 役 員	横 田 隆 司
執 行 役 員	山 口 健 夫
執 行 役 員	岡 部 恒 明
執 行 役 員	井 上 淑 子
執 行 役 員	片 岡 不 二 恵
執 行 役 員	田 中 良 司
執 行 役 員	青 木 和 宏



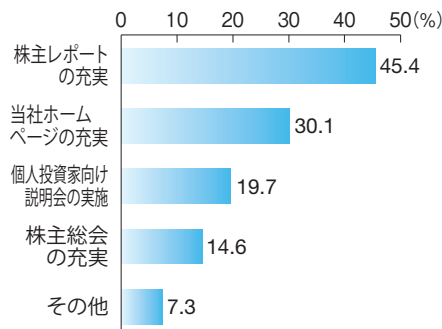
# 株主アンケートのご報告

昨年11月に実施いたしましたアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。  
アンケートの回収率は11.2%でした。株主の皆様から頂戴した貴重な情報を、  
今後のIR活動などにできる限り反映させてまいりたいと存じます。

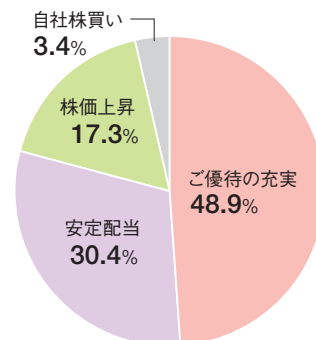
## Q 当社の株式を保有された理由 (複数可)



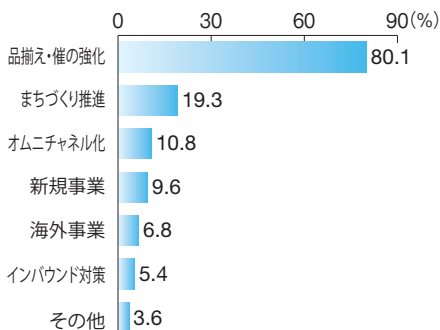
## Q 今後当社のIR活動として最も期待することは何ですか。(複数可)



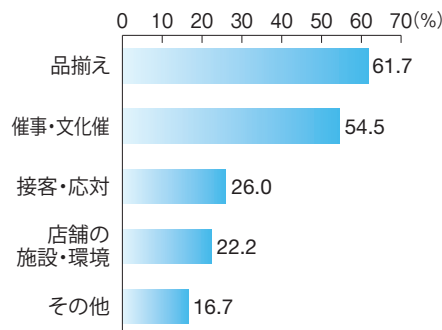
## Q 株主還元策として最も期待することについてお聞かせください。



## Q 当社の事業戦略、取り組みについて期待することは何ですか。(複数可)



## Q 当社ご利用の店舗にて充実を期待することは何ですか。(複数可)



## Topics

株主様のご意見からカードの磁気読取りが劣化しないように、ご優待カードの磁気ストライプ仕様を変更いたしました。



# 株主優待制度のご案内

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主の皆様  
に「株主様ご優待カード」を発行いたします。

通信販売カタログの送付をご希望の株主様は、  
受付フリーダイヤル ☎ 0120-111-777まで、お申し込みください。



## 株主様ご優待カードのご案内

- (1) ご優待カードのご利用により、高島屋各店での割引対象商品のお買物につき、10%（1円未満切り捨て）を割引いたします。
- (2) お支払いには、現金、当社の商品券、タカシマヤバラカード、タカシマヤギフトカード、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、友の会お買物カード（いよてつ高島屋を除く）、ギフト券（クレジット会社等発行）がご利用いただけます。また、タカシマヤカード《ゴールド》、タカシマヤカード、タカシマヤセゾンカード、外商お得意様用の各カードもご利用いただけます。
- (3) 他のご優待割引、各種ポイントサービスとの併用はできません。クレジットカードでのお支払い時は、クレジットカードのポイントはつきません。
- (4) ご優待カードをご持参されない場合は、割引いたしかねます。
- (5) 割引対象外の品目、ブランド  
商品券、タカシマヤギフトカード、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、ギフト券類、金・銀・白金の地金類、たばこ、食堂（イートインコーナー含む）、喫茶、旅行費用、荷具・送料、修理・加工料、箱代、保険料、ルイ・ヴィトン、ティファニー、ベルルッティ、ブルガリ、カルティエ、エルメス、フォクシー、ディズニーストア、ポケモンセンター、シャネルブティック、シャネルジュエリー、パテック・フィリップ、ゲーム機本体その他各店で特に指定する売場・商品等については、割引対象外とさせていただきます。
- (6) 代金引き換え配達のご利用方法  
通信販売または売場でのお買物で、ご注文の際にご優待カードご利用の旨をお申し出いただいた場合に限り、商品配達時に代金引き換えのお支払い方法で、ご優待カードをご利用いただけます（ただし、いよてつ高島屋を除く）。
- (7) オンラインストアでのお支払い方法  
コンビニエンスストア、ネット銀行、ペイジー（金融機関ATM等）、タカシマヤカード《ゴールド》、タカシマヤカード、タカシマヤセゾンカード、外商お得意様用の各カード及び友の会お買物カードでのお支払いになります。  
**(注) オンラインストア及び通信販売のお支払いにおいて、友の会お買物カードをご利用いただく場合は、事前に高島屋各店友の会窓口にて「認証コード」のご登録が必要となります。**

(8) 高島屋文化催の無料入場

ご優待カードのご提示により、3名様まで高島屋各店で開催いたします有料文化催に無料でご入場いただけます。

(9) ご優待カードは株主様ご本人と国内居住のご家族の方がご利用いただけます。

(10) ご優待カードは他人に譲渡・売買・貸与（ただし、上記（9）の場合を除く）等をされた場合は無効とし、ご利用いただけません。

(注) 株主様ご優待カードご利用時に、ご本人確認をさせていただく場合がございます。ご協力をお願い申し上げます。

非居住者である訪日外国人旅行者等を対象とした消費税免税を受けるお買物には、株主様ご優待カードをご利用いただけません。

(11) ご優待カードを紛失された場合、再発行いたしかねますのでご承知おきください。

(12) ご優待カードの分割発行はいたしかねますのでご承知おきください。

(13) ご優待カードは高温多湿な場所や、磁気を帯びたもの（テレビ・オーディオ機器・冷蔵庫等）の近くに置かないようご注意ください。また携帯電話やスマートフォン、ハンドバックや財布等の磁石留め具など、強い磁気を発するものとの接触や、一緒に携帯することで磁気が劣化する場合がありますのでご注意ください。

## 取扱店舗

高島屋各店 大阪店、堺店、京都店、洛西店、泉北店、日本橋店、横浜店、港南台店、新宿店、玉川店、立川店、大宮店、柏店、タカシマヤフードメゾンおおたかの森・新横浜・岡山 各店  
タカシマヤスタイルメゾン海老名店（ららぽーと海老名内）

岡山高島屋 岐阜高島屋 米子高島屋 高崎高島屋 ジェイアール名古屋タカシマヤ いよてつ高島屋  
タカシマヤ通信販売 高島屋オンラインストア


## 郵送時期および有効期間

対象株主	郵送時期	有効期間
2月末日現在の株主	5月下旬（定時株主総会終了後）	ご優待カード到着日より同年11月30日まで
8月31日現在の株主	11月下旬	ご優待カード到着日より翌年5月31日まで

## 株主優待制度についてのお問い合わせ

株式会社高島屋 総務部 〒103-8265 東京都中央区日本橋2丁目4番1号  
TEL (03) 3668-7063 (受付時間：10：00～18：00)

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日までの1年間
配当金受領株主確定日	2月末日 中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日です。
定時株主総会開催時期	5月
公告方法	電子公告をもって行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (ホームページアドレス <a href="http://www.takashimaya.co.jp/">http://www.takashimaya.co.jp/</a> )
単元株式数	1,000株
証券コード	8233
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  0120-232-711 (受付時間: 土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご了承ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

ホームページアドレス <http://www.takashimaya.co.jp/>



本冊子は環境保全のため、再生紙を使用し、「植物油インキ」で印刷しています。